

土木計画学のフレーミングを考える

小池淳司(神戸大学)@土木学会

土木計画学の目的

「人間の幸福」を土木事業を通じて追及すること

土木計画学の成立と背景, 昭和53年

↓

土木事業に関する社会的「真・善・美」の追求

社会的「真・善・美」

← 客観的・定量的

主観的・情緒的 →

主観 と 客観

理念 と 理論

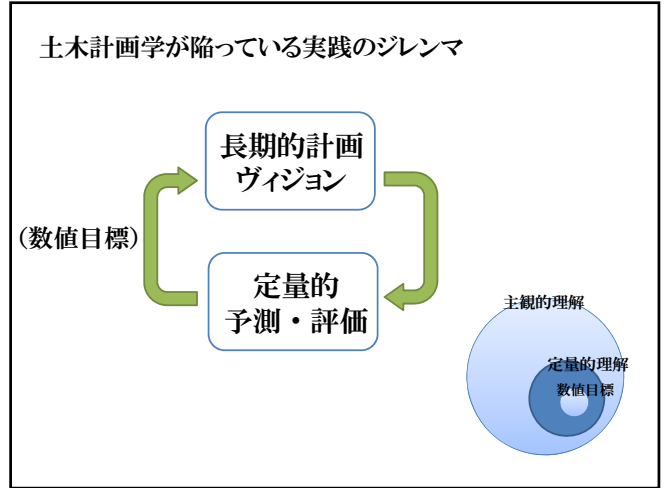
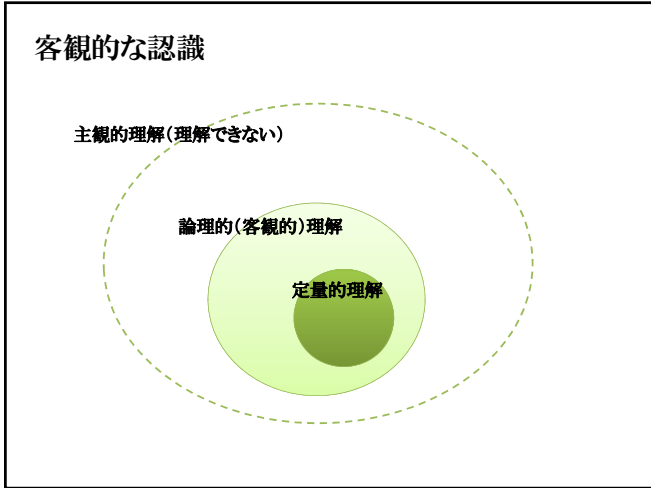
実践 と 科学

土木計画・学 と 土木・計画学

客観的な将来

予測	prediction
予定(予想)	anticipation
想像(計画)	imagination

prediction	short	EBPM(客観的)
anticipation	↕	↕
imagination	long	PLAN(主観的)



土木計画学が実務・実践から要求される人材(タスク)

宇沢弘文:社会的共通資本の供給原則

その管理は**職業的専門家集団**によって、専門的知見と職業的規律に従って管理されるべきである。
そして、構成員は**フィデュシアリー(fiduciary)**の概念、効率性よりも**社会的安定性、公正、平等**が尊重する。

昭和35年(1960年) 発行の科学技術白書

第一部

- 第1章 原子力時代は花ざかり
- 第2章 人間の代用品量産に入る
- 第3章 長寿の退屈
- 第4章 台風と地震の制御
- 第5章 都市と農村の握手
- 第6章 性と眠りのコントロール

